

KBM 561 (ヒトリンパ球活性化及び拡大培養用液体培地)



用途 本培地は、固相化抗CD3抗体で刺激したヒト末梢血T細胞のインターロイキン-2に依存した活性化培養及びその後の拡大培養に使用します(ヒトインターロイキン-2の添加が必要です)。また、NK細胞などの活性化培養にも使用できます(ヒトインターロイキン-2、その他のサイトカインの添加が必要です)。

特徴

- 注射用水をはじめとして医薬品グレードの高純度試薬を多用し、培地を調合しています。
- ヒト血清アルブミン(医薬品グレード)及び組換え型ヒトインスリン以外のタンパク質は添加されていません。
- 緩衝能を強化していますので、pHの変動を最小限に抑えられます。
- 抗生物質として、硫酸カナマイシンを含有します。
- 保存性に優れています。

使用例

1. 本培地を用いて、固相化抗CD3抗体上でヒト末梢血T細胞を活性化培養します。あるいは、精製した末梢血NK細胞を活性化培養します。
2. 活性化培養の開始時に、5-10%の自己血清(血漿)及びヒトインターロイキン-2(あるいは、その他のサイトカイン)の必要量を添加します。
3. 細胞の増殖に応じて自己血清(血漿)及びインターロイキン-2含有培地を添加し、培養スケールを拡大していきます。
このとき、血清(血漿)の添加を省略できる場合もあります。

浸透圧: 297.5 ± 12.5 mOsm/kg H₂O(氷点降下法)

pH: 7.2 ± 0.2(ガラス電極法)

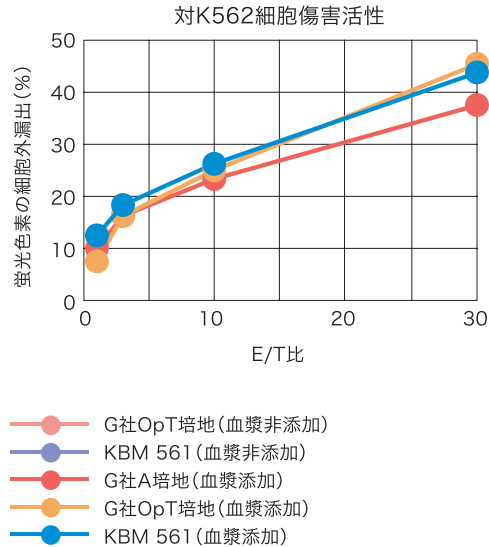
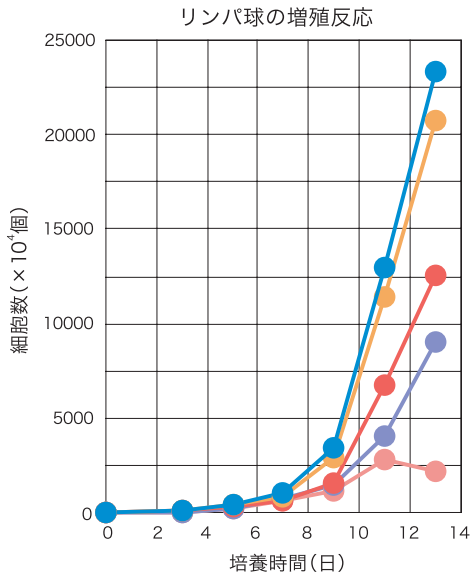
無菌性: 陰性(メンブランフィルタ法)

マイコプラズマ: 陰性(細胞培養法)

エンドトキシン: 0.3 EU/mL以下(リムルスレーザーを用いたカイネティックス法)

注 意: 本製品は研究用試薬であり、ヒトまたは動物の治療用ではありません。
インターロイキン-2などのサイトカインは不含有です。

培養例1 (活性化T細胞の誘導)



製品コード 16025610

製品名: KBM 561
形状: 液体(角型PET瓶)
容量: 1000 mL
保存: 冷蔵所(2-8°C)
サイトカイン: 不含有
有効期限: 製造後8ヶ月
価格: 12,000円

細胞: 成人健常者末梢血単核球
容器: 抗ヒトCD3抗体固相化12穴培養用プレート(Costar 3513)
サイトカイン: 組換え型ヒトインターロイキン-2(175 IU/mL)を添加した。
血清類: 培養開始時に、非動化済み自己血漿(5%)を添加した。
血清(血漿)非添加の系列も加えた。
増殖試験: 37°C、5%炭酸ガス環境下に初発 5×10^5 個/mLからの静置培養を開始し、増殖に応じて培養物を血漿不含有・サイトカイン含有培地で希釈しながら培養を続行した。
培養13日間に、図示した時間ポイントでトリパンプルー非染色細胞をカウントした。
分析: 培養13日目に、テラスキャンを用いて腫瘍細胞株K562に対する傷害活性を蛍光色素の細胞外漏出を指標として測定した。